## KANADEN

2021年3月期 第2四半期

# 決算説明会資料



株式会社カナデン



- 1. 当社グループの概要
- 2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要
- 3. 2021年3月期 通期業績·配当予想
- 4. 中期経営計画CI・J-3の進捗状況

#### 【ディスクレーマー】

当資料は投資家の参考に資するため、株式会社カナデン(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。記載内容は、2020年11月5日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。本発表にて提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みますが、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

## 1. 当社グループの概要

**KANADEN** 

## 当社の概要

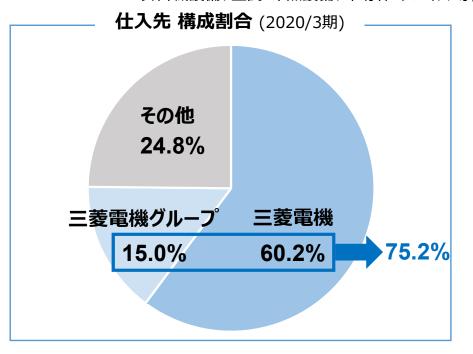


商 号	株式会社カナデン(KANADEN CORPORATION)			
設 立	<ul><li>創業:1907年 5月15日(神奈川電気合資会社)</li><li>設立:1912年12月18日(神奈川電気株式会社)</li></ul>			
本 社	東京都中央区晴海1-8-12 トリトンスクエアZ棟			
資 本 金	5,576百万円			
株 式	東京証券取引所市場第一部上場 <コード:8081>			
代 表 者	取締役社長 本橋 伸幸			
従業員数	●連結:880名 ●単体:600名 [2020年9月末]			
売 上 高	●連結:1,265億円 ●単体:1,186億円 [2020年3月期]			
関係会社	<ul><li>子会社:11社(国内4社、海外7社)</li><li>関連会社:1社</li><li>その他の関係会社:1社(三菱電機株式会社)</li><li>[2020年9月末]</li></ul>			

- 110年を超える歴史を有する
- エレクトロニクスソリューションズ・ カンパニー

#### ●三菱電機㈱の代理店

(FA機器、電子機器、コンピュータ、周辺機器、産業メカトロニクス、 昇降機設備、空調・冷熱設備、半導体・デバイス等)





## Missinn カナデンの使命 一私たちは何のために存在しているのかー

よきものづくりに 支えられた健全な 社会の発展 私たちは

お客様の立場に立って、よきものづくりに支えられた健全で活力ある社会の発展に貢献することを使命とします。

この使命を達成するために、全員がたゆまぬ努力と研鑚を積み最高のソリューションを提供することにより、産業界の発展に寄与します。

## Vision

#### **カナデンのビジョン** 一私たちはどこに行こうとしているのかー

お客様を最も知るベストパートナー

私たちは

それぞれの立場でお客様を最も知る企業となることを目指し、

真のエレクトロニクス技術商社としてお客様にトータルメリットを提供できるベストパートナーとしてかけがえのない存在となり、社会の持続的な発展に寄与します。

## Value

カナデンの基本となる価値観・行動指針 - 私たちは何を大切に考えるのか-

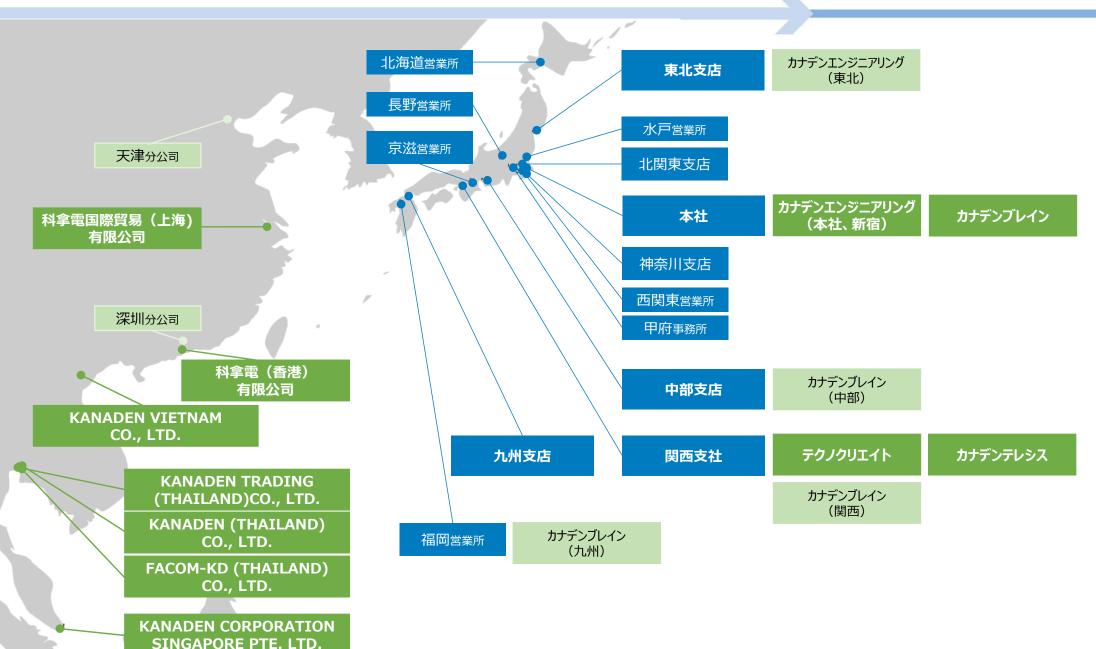
お客様に喜ばれ社会に役立つ

誠実に正道を歩む

挑戦と革新

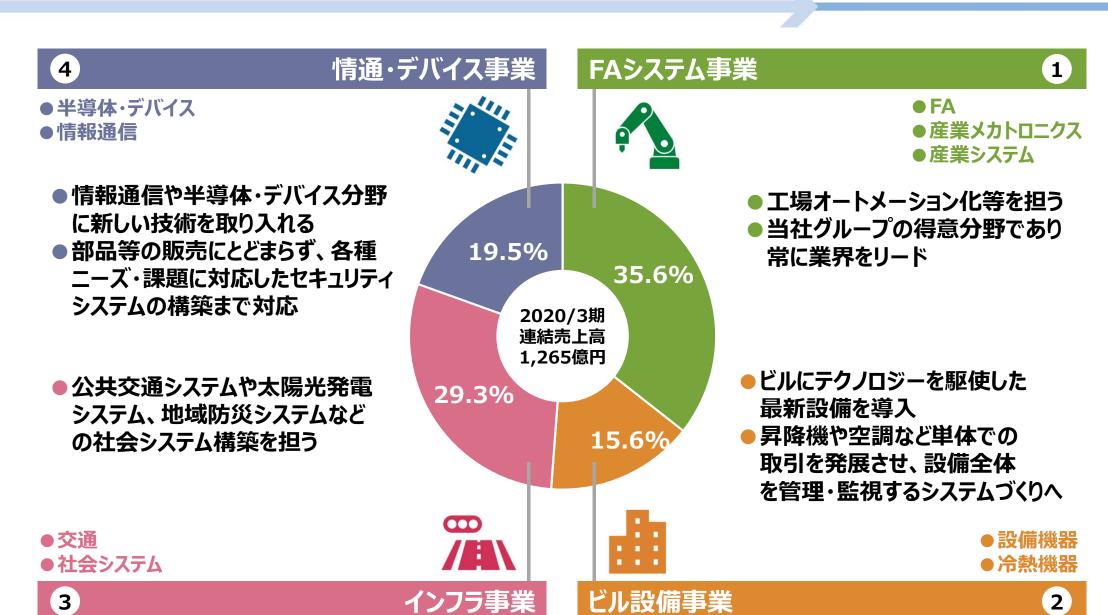
## グループネットワーク





## 事業領域

#### KANADEN



# 2. 2021年3月期 第2四半期 決算概要 **KANADEN**

	2019年度2Q (百万円)	2020年度2Q (百万円)	增減率 (%)
売上高	56,781	47,132	<b>△17.0%</b>
<b>売上総利益</b> (利益率)	<b>7,214</b> (12.7%)	<b>6,220</b> (13.2%)	<b>△13.8%</b>
<b>営業利益</b> (利益率)	<b>1,199</b> (2.1%)	<b>716</b> (1.5%)	<b>△40.2%</b>
経常利益 (利益率)	<b>1,269</b> (2.2%)	<b>791</b> (1.7%)	△37.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,811	1,030	<b>△43.1%</b>

- 新型コロナ感染症の世界的な感染拡大に伴い、景気の先行き不透明感による設備 投資の抑制からFAシステム事業が苦戦。
- インフラ事業では、鉄道事業者向けが前期の大口案件の剥落の影響により減少。
- 徹底して経費削減に努めるも、利益率の高いFAシステム事業の減益により大幅な減益。

## セグメント別の状況 1/4



#### ① FAシステム事業

	2019年度 2Q (百万円)	2020年度 2Q (百万円)	<b>増減率</b> (%)
売上高	21,257	17,221	△19.0
FA	14,647	12,295	<b>△16.1</b>
産業メカトロニクス	2,329	1,517	△34.9
産業システム	4,281	3,408	△20.4
経常利益	993	519	<b>△47.7</b>
経常利益率 (%)	4.7	3.0	



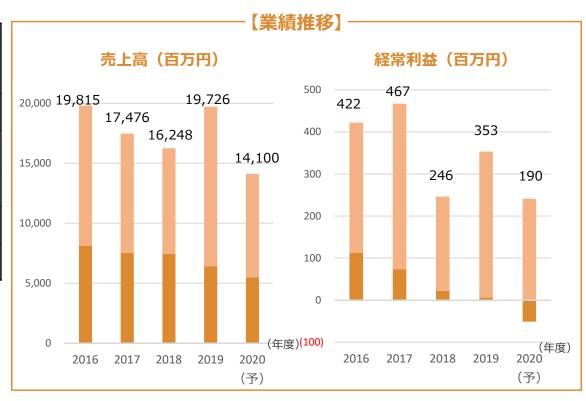
- FA分野:機械装置メーカおよび自動車産業関連顧客の設備投資抑制により駆動機器やコントローラ をはじめ各商品群が苦戦。
- 産業メカトロニクス分野:放電加工機・レーザ加工機ともに案件減少。
- 産業システム分野:前期のプラントメーカ向け電気設備大口案件の剥落により減少。

## セグメント別の状況 2/4



#### ② ビル設備事業

	2019年度 2Q (百万円)	2020年度 2Q (百万円)	<b>増減率</b> (%)
売上高	6,419	5,473	<b>△14.7</b>
設備機器	3,284	2,690	<b>△18.1</b>
空調・冷熱機器	3,134	2,783	<b>∆11.2</b>
経常利益	6	△51	_
経常利益率 (%)	0.1	_	_



- 設備機器分野:情報・通信事業者向け受変電設備は堅調に推移したものの、昇降機が前期の大口 案件の剥落により減少。
- 空調・冷熱機器分野:飲食・サービス業向け中心に需要低迷し空調機器、低温機器ともに苦戦。

## セグメント別の状況 3/4



#### ③ インフラ事業

	2019年度 2Q (百万円)	2020年度 2Q (百万円)	<b>増減率</b> (%)
売上高	17,397	13,728	△21.1
交通	13,112	11,045	<b>△15.8</b>
社会システム	4,285	2,682	△37.4
経常利益	9	1	△84.5
経常利益率 (%)	0.1	0.0	_



- 交通分野:鉄道事業者向け無線通信機器は堅調も、受変電設備は前期の大口案件が剥落、車両 用機器は低調。
- 社会システム分野:官公庁ビジネスは堅調も大口案件が剥落し、メガソーラー案件も減少。

## セグメント別の状況 4/4



#### ④ 情通・デバイス事業

	2019年度 2Q (百万円)	2020年度 2Q (百万円)	<b>増減率</b> (%)
売上高	11,706	10,709	△8.5
半導体・デバイス	7,033	6,693	<b>△4.8</b>
情報通信	4,673	4,015	<b>△14.1</b>
経常利益	191	263	+37.5
経常利益率 (%)	1.6	2.5	_



- 半導体・デバイス分野:産業用パワーデバイスが産業機器関連顧客の復調により好調に推移。ハードディスクドライブ用ICは部材入手難により生産数が減少し低調に推移。
- 情報通信分野:画像・映像機器は前年並みを維持。電子医療装置は案件減少。

## BSの状況



	2020/3末 (百万円)	2020/9末 (百万円)	増減 (百万円)	主な増減要因(前期末比)		
【資産の部】						
流動資産	65,364	53,493	<b>△11,871</b>	売上債権の減少△11,455、現金および預金の減少△6,466、有価証券の増加 +4,999		
固定資産	15,647	14,888	<b>△758</b>			
有形固定資産	9,142	9,093	△49	建物および構築物の増加+26、建設仮勘定の減少△60		
無形固定資産	396	439	+43	ソフトウェアの増加+43		
投資その他の資産	6,108	5,355	<b>△753</b>	投資有価証券の減少△665		
資産合計	81,011	68,381	<b>△12,630</b>			
【負債の部】						
流動負債	34,352	21,414	<b>△12,938</b>	仕入債務の減少△11,424、前受金の増加+783、未払法人税等の減少△684		
固定負債	1,948	2,043	+95			
負債合計	36,301	23,458	<b>△12,842</b>			
【純資産の部】						
株主資本	43,282	43,806	+524	四半期純利益の計上+1,030、配当金の支払△541、自己株式の減少+34		
その他の包括利益累計額	1,428	1,116	△311	その他有価証券評価差額金の減少△297		
純資産合計	44,710	44,923	+212			
負債純資産合計	81,011	68,381	<b>△12,630</b>			

## CFの状況



	2019年度 2Q (百万円)	2020年度 2Q (百万円)	主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	655	<b>△1,547</b>	税金等調整前四半期純利益1,523、売上債権の減少11,433、仕入 債務の減少△11,407、たな卸資産の増加△1,242、賞与引当金の減 少△431、法人税等の支払額△990
投資キャッシュ・フロー	△509	648	投資有価証券の売却による収入1,311、有形固定資産の取得による支出△229、無形固定資産の取得による支出△100、関係会社出資金の 払込による支出△346
財務キャッシュ・フロー	△560	△544	配当金の支払△540
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△37	△22	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△452	<b>△1,466</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	16,400	18,962	
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,948	17,495	

## 

## 2021年3月期 業績·配当予想



	2020/3期 【実績】 (百万円)	2021/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	126,519	108,000	<b>△14.6%</b>
営業利益	3,688	2,800	<b>△24.1%</b>
経常利益	3,785	2,800	△26.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,416	2,300	△32.7%
1株あたり配当金	42円	28円	<b>△14円</b>

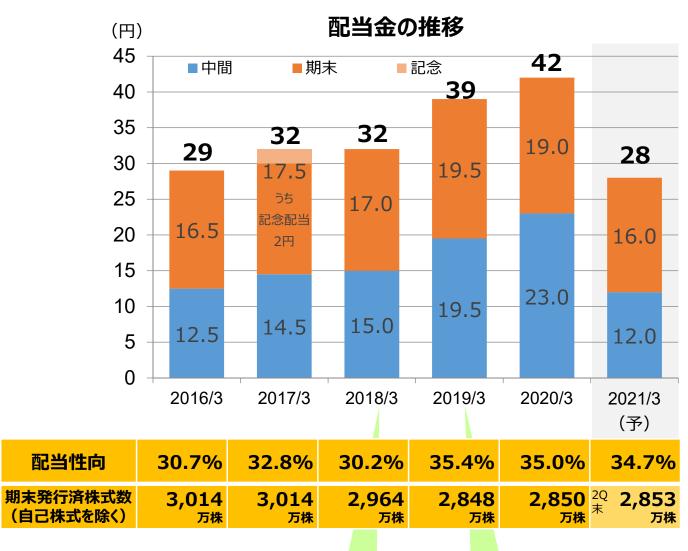
## 2021年3月期 セグメント別予想



		2020/3期 【実績】 (百万円)	2021/3期 【予想】 (百万円)	前期比 増減率 (%)		
	売 上 高	45,039	36,950	△18.0%		
FAシステム	経常利益	2,261	1,400	<b>∆38.1%</b>		
	国内・海外の景	気の先行き不透明感による設	備投資の抑制が継続			
	売 上 高	19,726	14,100	△28.5%		
ビル設備	経常利益	353	190	<b>△46.3%</b>		
	情報・通信事業者の設備投資が継続も、昇降機や空調機器は設備投資抑制が継続					
	売 上 高	37,080	31,400	<b>△15.3%</b>		
インフラ	経常利益	562	365	<b>∆35.1%</b>		
	設備投資抑制	や前期の大口案件の剥落影響	により前期比減少			
	売 上 高	24,673	25,550	+3.6%		
情通・デバイス	経常利益	456	795	+74.3%		
	産業機器関連	の需要が復調し、画像・映像機	器をはじめ堅調維持			

## 株主還元について





【基本的な株主還元方針】

堅実性と成長性を併せ持った「健全経営」を 確実に推し進めていくため、将来の事業展開 と企業体質の強化に必要な内部留保を確保 しつつ

- ●配当性向は35%
- ●収益状況に応じた適正な利益還元

を基本方針としております。

資本効率の向上を図るとともに、 株主の皆様への利益還元の 充実を図るため、適宜 自己株式の取得・消却を実施

自己株式取得 50万株 自己株式取得 118万株 自己株式消却 171万株

## 4. 中期経営計画()・J-3の進捗状況

**KANADEN** 

中期経営計画

# CI-J-3(Joint)

(2018年度~2020年度)

"つなぐ" "つながる"をテーマとし、真の技術商社としてステップアップ ⇒ 未来に "つなげる" 3年間へ

#### 【基本方針】

グループ理念の実践「お客様を最も知るベストパートナー」 お客様にトータルメリットを提供できる真のエレクトロニクス技術商社を追求する

成長性に重きを置いた戦略の実行と、必要な経営資源の積極的投入 高付加価値ビジネスの拡大を通じた収益性の向上

## CI·J-3(Joint) 基本戦略



## ● 事業領域の拡大

- ①あらゆるお客様とのつながりをより広く、より深く
- ②事業エリアの拡大(国内・海外)
- ③今後も成長が見込まれる分野への取組み強化 (環境・エネルギー分野、ロボット・自動化分野、IoT・AI対応分野)

#### ● 経営基盤の強化

- ①人材の拡充と育成
- ②戦略的投資政策の実行
- ③インフラ整備による業務改善

#### ● 公明正大な経営と社会貢献

- ①コーポレート・ガバナンスを強化し、より健全で透明性の高い経営を実践する
- ②全員が高い倫理観を持ち、健全で誠実な事業活動を実践する
- ③地域社会の発展、社会福祉、及び地球環境保全に取組み、健全な社会づくりに 貢献する

## CI・J-3(Joint) セグメント別戦略

#### KANADEN

#### FAシステム

国内外における自動化需要拡大への対応

● ロボット

● センサー

● システム受注

● パートナー連携

#### インフラ

社会全体の環境や安心・安全に対する意識の高まり

- 交通・公共分野への提案領域拡大
- 環境・エネルギー
- 安心・安全

#### ビル設備

ビルマネジメントにおける省エネ、環境対応の動き

- ビルマネジメントシステム
- ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
- 工事・保守を含めたソリューション

#### 情通・デバイス

技術の進化や新たな需要への対応

● 自動車·EV分野

● 海外製品

● 画像処理

● システム・工事



- 事業領域の拡大 −あらゆるお客様とのつながりをより広く、より深く
  - デジタルマーケティング部門の設置(2020年10月)

カナデンDX 各ツール(顧客・商談管理、マーケティングオートメーション)を活用したマーケティング機能の強化と既存の取組みの融合による、新たな営業スタイルを確立します。

業種・職種・課題に合わせてタイムリーに情報を発信し、お客様との接点を増やすことにより、事業 機会の拡大・創出につなげていきます。

新たな営業スタイルの確立

事業機会の創出 開拓

深化 活性化

デジタル×リアル

インサイド×フィールド

デジタルマーケティングによる リード獲得・育成

従来の取組みの強化



- 事業領域の拡大 −あらゆるお客様とのつながりをより広く、より深く
  - 社内外への発信

「ソリューションカタログ」「かなそる」「かなそるLite」「かなそるAI」による新しい技術やソリューション、製品情報の発信を通じて新たな気づきや価値を提供し、お客様のお困りごと解決に貢献します。

#### ソリューションカタログ

- 工場のスマート化をメイン テーマとし、漫画形式での 工場の課題解決ストーリー とイラスト形式でのソリュー ション事例紹介の二部で 構成
- ロボット・AIによる自動化・ 効率化、センサーを活用した設備予知保全、画像の AI認識によるセキュリティー 強化など多岐にわたるソリューションを紹介



#### 技術ニュース「かなそる」シリーズ

#### 「かなそる」

月1回発行している技術 ニュースでWebサイトにも 掲載。幅広い業種に適応 するソリューションを紹介



#### 「かなそるLite」

月2回発行。技術ニュース の臨時版として旬な情報を スピーディにメール配信

#### 「かなそるAI」

AIを用いたソリューション事例を17枚発行

事業領域の拡大 ー今後も成長が見込まれる分野への取組み強化

#### ロボット・自動化分野

(株)オフィスエフエイ・コムとの共同開発による可搬型産業ロボット (1) より販売開始しました。



ロボットの導入前・後の課題を解決し、これまで導入ハードルの高かった中小企業における自動 化を推進します。







速い・使いやすい・人に優しい・低価格





## CI・J-3(Joint)の取り組み状況④



● 事業領域の拡大 −今後も成長が見込まれる分野への取組み強化

#### AI分野

● 目的に応じたパートナーメーカとの協業によるソリューションの導入やオリジナルソリューションの共同開発など、画像処理を中心としてAIを活用したお客様のお困りごと解決のノウハウを蓄積し、提案力の強化を図っています。

事例

店舗×人数カウント 顧客動線・滞留時間を可視化し、マーケティングに活用

事例

工場×人検知 危険エリアへの人の立入を検知し、機械を停止

検証中

映像管理×人·物体検知

当社とパートナーの連携によるオリジナルAIモジュールの開発・・・・セキュリティや設備監視における異状検出の自動化、分析機能の強化

## CI・J-3(Joint)の取り組み状況⑤

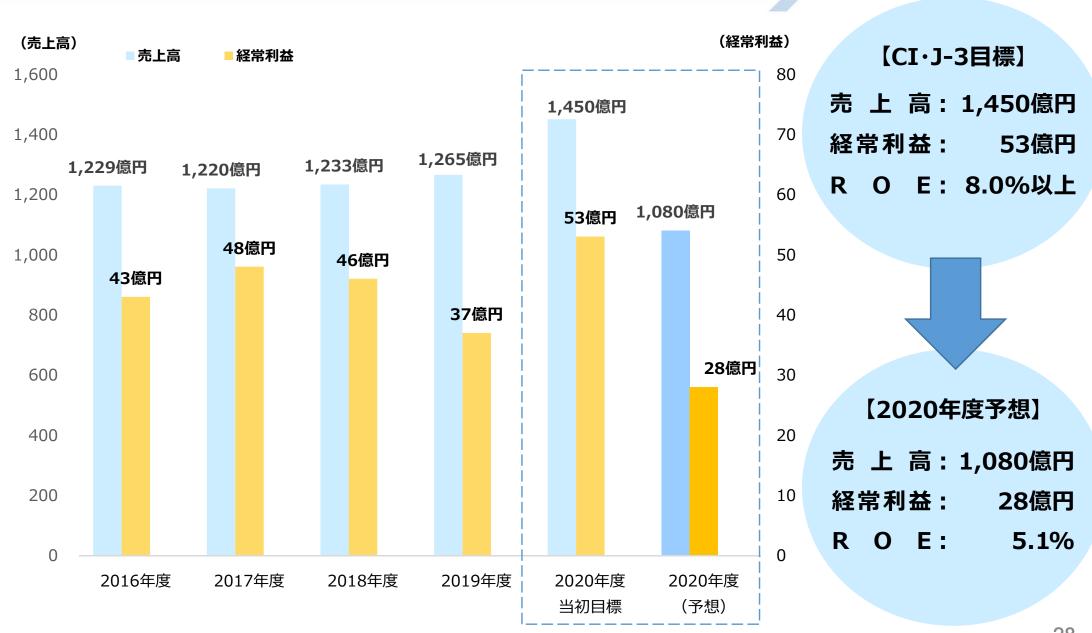


## ● 経営基盤の強化

- カナデンDXの取組み 営業支援システム・SAP導入
- インフラ整備による業務改善、働き方改革にむけた業務改善とITシステムの継続的改善を掲げ、『カナデンDX』としてプロジェクトを始動しています。
- 基幹システムの刷新に向け、SAP社のEasy One Tradingの導入に取組んでおります。新システムの導入により従来比で開発コストの削減が可能となるほか、営業支援システムとの連携を実現することで、生産性の向上を図ってまいります。
- 西関東営業所の移転(2020年10月)
- 大手製造業の工場が多く存在する神奈川県の県央エリアを重点的にフォローするため、従来の東京都八王子市から神奈川県海老名市に西関東営業所を移転いたしました。交通アクセス面がよく西関東地区のみならず、静岡地区含め活動範囲を拡大してまいります。

## CI·J-3(Joint) 数值目標





エレクトロニクスソリューションズ・カンパニー

# KANADEN